

## Paris

ニュース | 特集 | いのバ | バリとバレエとオペラ座と | バリのマルシェとレシピ | PARIS DECO |  
パリジェンヌファイル | バリブログ

HOME > PARIS > PARIS DECO

### 20mプールが待つ、新しい9区のオテル・パリス ステール。

PARIS DECO

November 21, 2017

BRAND SPECIAL

BRAND NEWS

9区に新しくできたオテル・パリスステールは、地下鉄7番線のCadet (カデ) 駅から2分くらいと便利な立地。斜め向かいにはパリっ子も大好きなお蕎麦屋さんのAbri Sobaというと、なんとなく場所がイメージできる人もいるだろう。ホテルから出て駅と反対方向に通りを進むと、肉レストランのEien Elevé、ビストロのEncore、Richerなどがあるリシェ通りにぶつかる。そのリシェ通りの先に広がるのはフォーブル・ボワソニエール通り、プティットゼキュリー通りといったレストランのメッカ。食を楽しむパリ滞在にも悪くないホテルである。



新しいソールニエール通りに面している。中庭を挟んで2つの建物からなる45室のホテルだ。



オフィスペースとしても使えるロビーフロア。

冬のバリ滞在は寒いし暗い、で、夏に比べると不活発になりがち。オテル・バリステールは、20×4メートルというバリ市内のプチ・ホテルにしては珍しいサイズのプールを地下に備えているのも大きな魅力だ。宿泊客はプールと حمامを無料で利用できるの、食べすぎても安心！自然光が上から差し込むプールでたっぷり泳ぎ、その脇のゆったりとしたサロンでのんびり寛いで……。

ウェルネス・フロアの地下にはさらに有料のフィットネスルームもある。地元民も活用できるホテルというのがオーナーの希望で、ここではヨガやボクシングの教室が開催されている。またスパでは最近バリで話題のブランドZENOLGYを使った5種のマッサージ（有料）を受けることもできる。これは一人だけでなく、二人一緒に、もOK。



地下のプール。プールサイドにゆったりとしたサロンスペースも用意されている。

45室からなるホテルは、中庭をはさんで左右の2つの建物に別れている。インテリアはとてもシンプル。落ち着いた色でまとめられ、ディテールに至るまで素材の拘りを感じさせるエレガントな部屋は、眠りのための理想的な空間だ。





室料は250ユーロ。部屋の広さは17〜37平米。



ホテル上階のテラス付きの部屋は325ユーロ。 photo : N. Matheus



バスルームは洗面台も乾口もクオリティが高く、シンプルなデザイン、安らぎを感じさせる。アメニティ (photo : N. Matheus) はZENOLOGY。Figue Sycamorはホテル・パリステールだけの香りだ。

カクテル自慢の1階のバーLes Passerelles (レ・パスレル)。ここでは、いまのバリのinな場所には不可欠なトックスジュースもオーダーできる、朝食は季節の素材を使ったヘルシータイプ。急いでいる人は、朝食のテイクアウトもできるそうだ。

バーから出られるテラス席は、バリの中心部にいることを忘れさせる。次のバリ滞在は、ホテル・パリステールにする？





バーではアイルランド産のジン、柚子、ゴジの実、ジャマイカのラム……そんなカクテル  
(photo : N. Matheus) が味わえる。

**Hotel Parister**  
19, rue Saunier  
75009 Paris  
tel.01 80 50 91 91  
[www.hotelparister.com](http://www.hotelparister.com)

大村真理子 Mariko Omura  
madameFIGARO.jpコンテンツエディター  
東京の出版社で女性誌の編集に携わった後、1990年に就任。フリーエディターとして活動した後、「フィガロジャポン」パリ支局長を務める。主な著書は「とっておきパリ左岸ガイド」(玉村豊男氏と共著/中央公論社)、「パリ・オペラ座バリエ物語」(CCCメディアハウス)。

パリ9区

パリホテル

Share On



不思議で可愛い、クレモン  
ティースが生み出す動物たち。

≡ BACK TO INDEX